

東大和市立郷土博物館だより

# 光と風

令和8年1月1日発行 第127号

東大和市立郷土博物館

207-0031東大和市奈良橋 1-260-2

電話 042-567-4800

FAX 042-567-4166

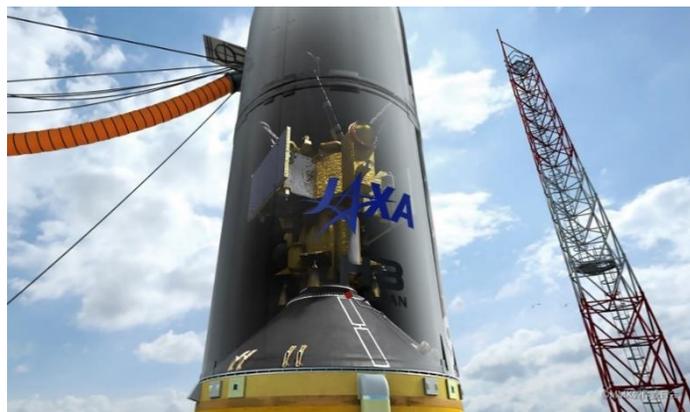
メール [hakubutsukan@city.higashiyamato.lg.jp](mailto:hakubutsukan@city.higashiyamato.lg.jp)

## プラネタリウム冬番組投影中 3月8日(日)まで

### 一般番組 MMX火星衛星探査計画

投影日時：平日、土・日・祝日 午後3時  
2月23日(月・祝)は、投影内容が代わります。

小惑星探査機「はやぶさ2」は、2020年に小惑星リュウグウのかけらを地球に持って帰りました。その技術を受け継いで行われるのがMMX火星衛星探査計画です。『火星の衛星フォボスに着陸してサンプルを持ち帰る』というミッションと、サンプルを持ち帰ることのできることを紹介します。



©MMX製作委員会

特別回 天文講演会 月のその先へー私たちが火星の衛星を目指す理由 2月23日(月・祝) 午後3時

講師：松本祐樹氏 (MMXプロジェクト航法誘導制御(GNC) エンジニア)

講演後、プラネタリウム番組「MMX火星衛星探査計画」を投影します。星座解説はありません。

### 企画展示 MMX展

期間 2月7日(土)～3月1日(日)

場所 企画展示室

MMXや火星のことを紹介します。

### 特別番組 ダイダロスの翼

投影日時：土・日・祝日 午後1時  
3月1日(日)を除く

ダイダロスとイカロス親子のギリシャ神話からはじまる、人類飛行の物語。空を飛びたいというひとつの夢が、時代を越えて受け継がれました。人類が空と宇宙を目指した歴史を紹介します。

### こども番組

### ぼくらの宇宙旅行～なぞなぞの星～

投影日時：土・日・祝日午前11時

大空博士とロボットの宙太郎と一緒に宇宙旅行に出かけます。

今回はみるくちゃんも加わって、なぞなぞを解きながら、土星のことを学びます。



### 星空さんぽ投影

### ひなまつり皆既月食

投影日時：3月1日(日) 午後1時  
3月3日の皆既月食を紹介します。

### 震災特別番組

### 星よりも、遠くへ

投影日時：3月7日(土)・8日(日)・14日(土)・15日(日) 午後4時  
東日本大震災の被災者のエピソードでつづる番組です。

	午前11時	午後1時	午後3時
平日	———	———	MMX火星衛星探査計画
土・日・祝日	ぼくらの宇宙旅行 なぞなぞの星	ダイダロスの翼	MMX火星衛星探査計画

■ 観覧料 大人300円、小中学生100円、未就学児は無料

■ 期間中の休館日 月曜日(1/12、2/23は開館)、1/1(木)～1/4(日)、1/13(火)、2/12(木)、2/24(火)

## 冬の催し案内

☎マークがついている行事は、事前にお申し込みください。郷土博物館 042-567-4800までお願いします。

### ロビー展示

#### すこしむかしの道具たち

小学3年生の郷土学習関連の展示として、道具についての展示を行います。授業の時だけ特別に、ていねいに扱うことを約束して道具に触れてみます。気に入った道具を見つけ、みな楽しそうです。

期間 1月10日(土)～3月8日(日) /  
会場 郷土博物館エントランスホール  
※学校の授業対応のため、日程等変更になることがあります。ご承知おきください。

### ロビー展示

#### 狭山丘陵で学んだよ

小学生が自然観察・体験をとおして学んだようすを紹介します。

期間 3月21日(土)～5月6日(水・振替休日) /  
会場 郷土博物館エントランスホール

### 企画展示

#### 岸和男 植物画の世界

植物画家・岸和男氏の植物画(ボタニカルアート)を展示します。岸和男氏は、東大和市報に連載されたコラム「野草の証言」の挿絵を担当されたほか、市の野草教室や植物画教室の講師を長年務められました。どうぞ、ご覧ください。

期間 3月20日(金・祝)～5月10日(日) /  
会場 郷土博物館企画展示室

## 戦災建造物

### 旧日立航空機株変電所の公開



戦災建造物である変電所を、公開しています。現地解説員によるガイドも行っています。どうぞお越しください。

公開日 毎週水曜日と日曜日

時間 午前10時30分～午後4時

#### 変電所のライトアップ

工場が攻撃を受けた2月17日(火)に、ライトアップを行います。なお、当日は内部の公開は行いません。

時間 午後5時30分～6時30分

場所 都立東大和南公園内

### 屋間の星の観察会

#### 太陽をみよう

太陽の表面を観察します。この時期は黒点が多くみえます。

期日 1月11日(日) / 午前9時30分～10時30分(時間内ならいつでもどうぞ) / 案内 星空ボランティア・郷土博物館職員 / 会場 郷土博物館前

## 🗨️ 星空観察会

### 惑星をみよう

夕空にみえる、土星や木星をみます。冬の星も探します。

期日 1月17日(土)／集合 午後6時 郷土博物館ロビー／定員 40人(申込先着順)／案内 星空ボランティア・博物館職員／会場 郷土博物館前

## 🗨️ 自然観察会

### バードウォッチング

葉の落ちた林で、野鳥観察。エナガやキツツキなどを探します。もしかしたらオオタカも。

期日 2月1日(日)／集合 午前9時 郷土博物館前／持ち物 筆記用具・双眼鏡／講師 大庭健二さん(都市鳥研究会幹事)・柴田佳秀さん(日本鳥学会会員)・永石文明さん(東京農工大学講師)／観察地 市立狭山緑地 お昼頃解散します。

## 🗨️ 自然観察会

### 冬の生き物たち

冬越しをする草木や虫。冬でも元気な野鳥の観察を楽しみます。冬ならではの自然現象もお楽しみに。

期日 2月11日(水・祝)／集合 午前9時30分 郷土博物館会議室／持ち物 筆記用具・双眼鏡／案内 郷土博物館職員／観察地 市立狭山緑地 お昼前に解散します。

## 🗨️ 自然観察会

### 空堀川の鳥たち

鳥が見やすい空堀川。カワセミ、コガモ、コサギなど野鳥観察を楽しみませんか。

期日 3月1日(日)／集合 午前9時30分 武蔵大和駅下広場／持ち物 筆記用具・双眼鏡／案内 郷土博物館職員／観察地 空堀川(清水橋～狭山橋) お昼前に解散します。

## 🗨️ 自然観察会

### 野草教室

早春の花・カタクリをはじめ、芽吹き間近の雑木林で植物観察を楽しみます。好評のスライド解説もお楽しみに。

期日 3月22日(日)／集合 午前9時30分 郷土博物館会議室／持ち物 筆記用具／講師 下田治信さん(認定NPO法人KU-MA会員)／観察地 市立狭山緑地 お昼頃解散します。

## 第38回 多摩郷土誌フェア

多摩地域の郷土の歴史や文化財、自然に関する図書を一堂に集め、展示販売します。東大和市以外の図書もじっくりと選べる絶好の機会です。ぜひご来場ください。

期日 1月17日(土)・18日(日)／時間 午前10時～午後5時(18日は午後3時まで)／会場 立川市柴崎学習館(立川市柴崎町2-15-8 電話 042-524-2773) JR立川駅南口から徒歩9分。多摩都市モノレール立川南駅から徒歩8分。駐車場はございません。



柴咲学習館の地図は、  
左記QRコードの  
リンクからご確認ください。

# 博物館カレンダー

郷土博物館は1月～3月のあいだ、次のように開館します。■は休館日です。

3月10日～13日は番組入れ替え作業のため、プラネタリウムのみお休みさせていただきます。

	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
1	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
月	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31
2	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
月	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
3	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
月	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

## この冬の天文ショー

3月3日は半年ぶりに皆既月食がみられます。今度は夕方の空です。晴れるといいですね。

夕空にみえていた土星は、2月に入ると低くなって見えにくくなります。木星はふたご座とともに昇ってみえやすくなります。ふたご座の星よりも木星の方がずっと明るいので、ふたご座を捜す目印になります。

冬の星座の星は、明るい星が多いので、目印になるつなぎ方を知っておくと便利です。ベテルギウス（オリオン座）、シリウス（おおいぬ座）、プロキオン（こいぬ座）で描く「冬の大三角」やシリウス、プロキオン、リゲル、アルデバラン、カペラ、ポルクスで描く「冬のダイヤモンド」は、1等星をつなぐので明るく目立ちます。本当の空でみつけられると嬉しいものです。

詳しくは毎月の「星だより」（館内発行）をご覧ください。（野崎）

まちな文化財 あんなもの  
こんなもの

## 柳行李（やなぎごうり）



写真はコリヤナギという植物で作った、衣類や身の回りのいろいろな品物を入れる容器です。ゴザのようにコリヤナギと麻糸で編んだものを箱の形に成形した後、縁は割竹を芯にして、麻布で角や縁の補強をします。軽く、通気性があり、蓋の閉め方で容量に融通がきくという特徴があります。

古くは文箱（ふばこ）・つづら・長持・櫃（ひつ）などの蓋の付いた収納用具、つまり箱に品物をしまおうという暮らし方をしていました。柳行李もそれら同様、ものを大切にしまおうくらしの道具でした。江戸時代になると、引き出しがあり、効率よくもの出し入れができるダンスが使われるようになり、収納の方法が変化しました。それでも柳行李は使われ続け、収納だけでなく、ダンボール箱のように、引っ越しの時に衣類や身の回りのものを入れて運ぶ道具としても活躍しました。

時代は移り、ハンガーにかけたまま洋服をしまえる洋服ダンスを使うようになり、最近ではウォークインクローゼットに衣類をハンガーにかけて収納し、ほかの衣類や小物は樹脂製の収納ボックス、収納ケースと呼ばれる容器に入れるという収納方法をとっている方も多いかと思います。収納の方法は変わっても、ものを大切に使い、大切にしまおう心は忘れないようにしたいと思います。（梶原）

ロビー展示「すこしむかしの道具たち」にも柳行李を展示しています。ぜひご覧ください。